

1 噴水とモニュメント (中村駅)

JR 中村駅

四万十市は「土佐の小京都」とも言われていて、「日本最後の清流」と呼ばれる四万十川があります。駅の構内には四万十川をイメージした噴水と、池が造られています。



2 安並水車の里 (四ヶ村溝)

JR 中村駅より車で約 10 分

野中兼山が開発した用水路（長さ 160m、幅 11m）の四ヶ村溝から水田に水を汲み上げるために設置された水車が、今も動いています。現在は観光用に 14 基の水車を設置し、周辺が公園として整備され地元の方が管理しています。6 月にはアジサイが咲き乱れ 10 月中旬～11 月上旬にはコスモスが彩りを添えています。



3 せせらぎ水路

JR 中村駅より車で約 5 分

中村山手道の高知県幡多総合庁舎前を起点に、中村丸の内の大神宮前までの区間にせせらぎ水路が整備されています。水路には四万十川の水を流し、丸の内川の水質改善と市街地の水辺環境の改善を行っています。



4 百笑堤

JR 中村駅より車で約 5 分

「どうめき」と呼ばれる地区は「川瀬の音がどよめくことによる」という由来と、「百人が笑うとどよめきが起る」という両方の由来があります。この地区は夕日が美しい所で、春には菜の花が一面に見られ、人々の目を楽しませてくれます。



5 舟母の湊

JR 中村駅より車で約 10 分

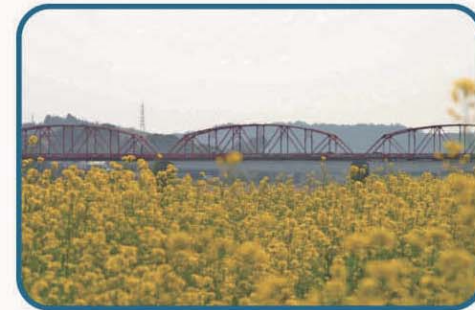
舟母（せんば）と呼ばれる舟は物資の輸送に古くから用いられた帆掛け舟を再現したもので川面を走る姿は風情があります。今では数隻しか残っておらず、観光客を乗せた舟母が四万十川をゆっくりと渡っています。



6 赤鉄橋

JR 中村駅より車で約 5 分

四万十川橋は大正 15 年 6 月 30 日に竣工した、四万十市中村地区の中心部にある橋です。橋と川の景観が見事にマッチしており別名「赤鉄橋」の名でも親しまれています。



7 とんぼ自然公園

JR 中村駅より車で約 7 分

トンボ自然公園は木々の緑と四季の花々に抱かれた園内に遊歩道が設けられ、一年を通じて 74 種類のトンボを見ることができます。世界初のトンボ保護区で同規模面積の環境としては種類密度日本一を誇っています。館内では、世界のトンボ標本約 1000 種を展示する「トンボ館」と、アカメなど四万十川にすむ魚類を中心に約 300 種の魚類を飼育展示している「おさかな館」があります。



8 入田柳林

JR 中村駅より車で約 6 分

四万十川橋（通称 - 赤鉄橋）の上流河川敷に広がるヤナギ林で、長さ約 2km・幅 150～200m ほどの林が本流筋に沿って細長く分布しています。アカメヤナギ・ネコヤナギ・ヨシノヤナギ・コリヤナギなど数種のヤナギが確認されており、高知県指定希少野生植物に特定されているマイヅルテンナンショウの自生地でもあります。春には一面菜の花で覆われ、菜の花まつりが開催されます。

